

令和 7 年 度

事 業 報 告

事業体系図



1. 総括

公益財団法人世田谷区産業振興公社では、「世田谷区産業振興公社の改革方針」を基に、中小企業者の経営・雇用就労支援、地域活性・交流推進、勤労者福祉（セラ・サービス）の各分野で積極的に事業を展開している。令和7年度は物価上昇、円安、賃金アップ、人材不足など様々な課題に迫られる中小事業者を念頭に、区の産業振興施策を推進する公益財団法人として、区行政と密接な連携を保ちながら、次の事業を推進した。また、引き続き能登半島地震の災害支援のため公社主催のイベントでの支援金募金を行った。

（1）中小企業の振興に係る支援に関する事業

中小企業の経営支援では、融資あっせん・経営相談として、世田谷区融資あっせん受付、中小企業診断士による経営相談を行った。融資あっせんでは、新たな資金ニーズの申請が小口零細資金や事業資金、事業転換多角化資金などを中心に増加した。

また、多様な課題に直面した中小事業者に対して、経営支援コーディネーターによる伴走型の訪問支援を行った。この支援は、総合経営相談での相談内容に応じて伴走型支援に移行する手法で実施しているところ、令和7年度より、一時的支援となる助成金申請の相談については総合経営相談の中で効率的に対応することとしたため件数は減少したが、ITやWeb関係、販路開拓などで必要となる区内事業者の支援を効果的に行った。

創業に関する支援では、特定創業支援等事業について従来の対面式の創業セミナーに加え、オンライン形式による講義を開催し、利便性向上に努めたところ、受講者増となり、あわせて創業相談も増加した。

このほか、商店街振興組合等に対する顧問的診断士の派遣など、いずれも中小企業診断士の協力を得て、区内中小企業等へ必要な支援を行うことができた。

（2）中小企業の振興に係る情報の収集、提供及び普及に関する事業

区内産業及び観光に関するパンフレットやチラシ等を配架するなど、区内産業・観光の活性化を目的とした展示・交流等スペースの運営を行い、区民等への周知を図った。また、産業情報紙「せたがやエコノミックス」を東京商工会議所世田谷支部、区と合同発行し、多様な働き方や持続可能な社会に関する取組みの特集などを掲載し、産業理解の促進につなげた。

（3）中小企業の振興のための交流の推進に関する事業

区内産業団体の青年層が、区内産業の交流や発展、区内産業に対する住民理解の促進に向け取り組むイベント「せたがや産業フェスタ2025」を三軒茶屋のふれあい

広場、産業プラザで開催した。今後もより効果的な企画内容等を検討していく。

また、東京都等が主催する「産業交流展」に出展する区内事業者に対し、PR用のバナースタンドやシールを作成し、交流促進に向け支援した。今後は他区の商談会への参加についても支援していく。

区内外のモノづくりに携わる事業者の情報交流サイト「Setabiz(セタビズ)」は、情報量の増加等によりアクセス数が急伸し、交流促進に寄与した。

世田谷産業プラザ会議室等の運営では、8月から会議室検索サイトを活用し、利用拡大につなげる一方、今後の産業プラザ活性化に向け、新たな交流イベントを試行しながら産業プラザ団体連絡会で意見交換を行い、必要となる機能等を取りまとめた。令和8年度も引き続き、事業や施設・設備等の具体的な検討を進めていく。

(4) 雇用、就労に係る情報の収集、提供及び普及並びに各種相談等の支援並びに職業紹介に関する事業

三軒茶屋就労支援センター（三茶おしごとカフェ）は、就労相談窓口や情報コーナー、ハローワークの職業紹介窓口「ワークサポートせたがや」を併設するなど、区内就労支援サービスの拠点として運営した。売り手市場を背景に、求人登録件数が増加する一方で、求職登録者数及び就職件数はほぼ横ばいとなっており、令和8年度に向けては、オンラインによる求職登録の準備を進めた。シニアの多様な働き方支援（R60-SETAGAYA）においては、求人登録件数及び新規登録者数が増加し、就職件数も増加となった。また、就職を目指す若年層に向けては、実践的な講座、個人面談等を実施した。

各種の就職支援セミナーでは、趣旨や目的に沿って、オンライン開催と対面開催とを分け、就職意欲のある子育て中・子育て後の再就職を目指す女性や高齢者への支援を行った。また、福祉、保育人材の確保など、産業別に特化した就職相談会も実施した。

さらに、就職に不安を抱えている求職者に対し、メンタルケアカウンセリングを行い、求職者一人ひとりの就職活動をきめ細かくサポートするとともに、令和8年度からの社会保険・労働相談のオンライン対応に向けた準備も進めた。

(5) 中小企業勤労者福祉の充実及び推進に関する事業<セラ・サービス事業>

余暇活動助成に関する事業でのベネフィット・ワンへの委託事業については、丁寧な周知やサポートデスクの運用が奏功し、グルメやショッピング分野を中心に、これまで利用が伸び悩んでいた宿泊補助についても大きく拡大した。

独自事業については、特産品のあっせんやグルメチケットの利用が減少した一方、会報誌の各号で約20種類の企画を掲載している観劇チケットについては、安定した

利用実績を維持した。

健康維持増進事業では、ベネフィット・ワン事業のフィットネス利用が大幅に増加した。また、独自事業の人間ドックや定期健康診断についても、利用が増加した。

加入促進については、事業所アンケート等を通じて、会員や事業所のニーズ把握に努めるとともに、サポートデスクの継続運用やベネアカウント登録キャンペーンを実施した結果、会員数は前年度末比で229人増加した。今後も、産業団体の会合やセミナー等の機会を活用するとともに、健康経営をテーマとした公社セミナーや創業相談等の機会を通じて、事業の周知と加入促進に取り組んでいく。

(6) 区内観光に係る情報の収集、提供及び交流に関する事業

世田谷まちなか観光交流協会の会員相互の交流連携を支援し、部会の推進と地域に根差したイベント「三軒茶屋駅前マルシェ」の定期開催、11月には、三軒茶屋において協会主催イベント「世田谷まちなか観光メッセ」を開催し、区内周遊型謎解きイベントの実施や協会会員による出展を通じて、会員間の連携促進および地域経済の活性化に寄与し、まちなか観光の推進を図った。

三軒茶屋観光案内所では、インバウンド増加と観光需要の高まりにより、年間利用者数が増加した。また、SNS等の様々なメディアを活用した地域情報の発信により、インバウンドを含む区内外からの来街者の呼び込みを促進するとともに、モバイルユーザーの利便性に特化した観光情報サイトを新たに開設し、観光客誘致を図った。

イベントへの出展回数も増え、世田谷みやげ指定事業者をはじめ、世田谷まちなか観光交流協会会員や交流自治体へ出展または販売機会の提供を行い、地域の賑わい創出や交流機会の拡充につなげた

世田谷みやげは、合計114の商品を指定（新規指定10商品）し、「世田谷みやげ2026」を発行した。また、地域メディアと連携したSNSや情報誌における定期的な発信を実施するとともに、カプセルトイを活用した周知拡大の取り組みを行った。さらに、「世田谷みやげアンバサダー」である編集者・評論家の山田五郎氏が「観光メッセ」のイベントに出演するなど、世田谷みやげの魅力をより多くの方へ広めることができた。

2. 事業実績

Ⅰ 中小企業の振興に係る支援に関する事業 (定款第4条第1号関連)

事業名・事業内容	【令和7年度】実績	前年度対比	備考(※)	令和7年度事業計画
1. 創業者の支援に関する事業 (1) 創業相談（ワンストップ相談窓口） 創業に必要な事業計画の作成や創業に関する融資あっせん等について、創業専門相談員（中小企業診断士）が指導・助言を行う。 (2) 特定創業支援等事業 創業希望者等に対して、経営、財務、人材育成、販路開拓についての知識を取得できる創業講座、創業セミナーを実施する。 受講者に対して、区が産業競争力強化法に基づく認定を行う。 ①創業講座 経営に関する基礎知識を習得できる4科目（経営、財務、人材育成、販路開拓）の講座を、動画配信等により実施する。 ②創業セミナー 創業に必要な心構えや経営、財務、人材育成、販路開拓などの知識習得を目的とした創業セミナーを開催する。（各5回・年2回開催） 春コースは土曜：午前、秋コースは平日：夜間	創業相談 1,914回 創業融資 あっせん相談 606回 8回実施 1回の内容はオンデマンド配信3科目と対面開催1科目の計4科目（講座申込者数） 春コース 24人 秋コース 23人	491増 50減 120増 1増 同水準 5増 同水準	特定創業支援事業希望者の増加により相談回数が増加したため 融資を前提としない創業相談の増加により減少したため 講座回数増加の影響により参加者数が増加したため 同水準 同水準	1,450回 700回 400人 24人 21人
2. 中小企業の経営支援に関する事業 (1) 融資あっせん・経営相談 ①融資あっせん・経営相談 ②国のセーフティネット保証に係る認定書の発行 ③総合経営相談 (2) 経営・技術等専門家派遣事業 経営・技術等専門家派遣事業（経営支援コーディネーター） 資金繰り、販路拡大、IoTの活用、事業承継等様々な課題について、窓口相談に限らず、事業所への訪問相談も実施し、継続的な伴走支援を行う。 (3) 環境・品質認証取得支援 中小企業がISO及びプライバシーマーク等の認定取得の際に要する経費を助成する。ISOについては、認証継続の更新費用を一部助成する。	あっせん書発行 2,182件 相談 460回 相談件数 45回 助成件数 1件	230増 62減 106増 55減 2減	運転資金利用増加により件数が増加したため 制度利用件数が減少したため 資金利用相談増加により件数が増加したため 令和7年度より一時的支援の対象となる助成金申請の相談については総合経営相談で対応したため 同水準	2,000件 50件 350回 100回 3件

(※) 備考欄は前年度対比の主な理由説明

事業名・事業内容	【令和7年度】実績	前年度対比	備考(※)	令和7年度事業計画
3 商店街の振興に関する事業 (1) 商店街経営学校 顧問診断士派遣（旧：産業活性化アドバイザー派遣） 区内商店街等に顧問的診断士を派遣し、指導・助言を行う。 先進事例の紹介、訪問指導・診断、助言、計画策定の支援等を行う。	振興組合 27件 商店会 6件	±0 ±0	同水準 同水準	27件 6件

II 中小企業の振興に係る情報の収集、提供及び普及に関する事業

(定款第4条第2号関連)

事業名・事業内容	【令和7年度】実績	前年度対比	備考(※)	令和7年度事業計画
1 世田谷の産業の紹介に関する事業 (1) ものづくり事業所の紹介 ものづくり事業所の紹介冊子の発行は行わず、WEB媒体「Setabiz」を運営する。	参加事業所 61社 アクセス数 15,581件	±0 10,600増	令和8年度からSetabizに完全移行した 情報発信回数を大幅に増やしたため	61社 —
2 産業経済情報の提供に関する事業 (1) セタがやや産業情報紙の発行 区内の景況調査結果と併せ、広く区民や事業者等に世田谷の商業・工業・農業・観光等の産業への理解を促進し、世田谷の産業の発展に資するため「セタがやエコノミックス」を発行する。	4回(6・9・12・3月) 44,000部	±0	同水準	44,000部

III 中小企業の振興のための交流の推進に関する事業

(定款第4条第3号関連)

事業名・事業内容	【令和7年度】実績	前年度対比	備考(※)	令和7年度事業計画
1 産業交流の支援・促進に関する事業 (1) 産業交流イベント事業 産業団体青年層が取り組むイベント「セタがや産業フェスタ」に区と連携し、必要な協力を行い区内産業の発展や住民理解の促進を図る。 (2) 世田谷産業プラザ会議室の運営 事業者や産業団体の研修及び会議等の会場として、産業プラザ3階会議室の貸し出しを行う。	10月25日実施 1回 676件 12,739人	±0 104増 2,829増	同水準 貸し会議室等予約サイトへ登録し、周知を強化した結果、利用が増加したため	1回 680件 11,900人
2 産業交流の場に関する事業 (1) 産業交流展等への参加 展示会に出展する事業者のPR用バナースタンドを作成しサポートするとともに、他区主催のビジネスマッチング商談会への参加勧誘を行う。	産業交流展 3件 (新規)品川区ものづくり・IT商談会 2件	2減 新規	出展者意見を踏まえ、他区主催商談会への参加を優先したため 出展機会の拡大のため、新たに他区の商談会への出展支援を行ったため	5件 —

(※) 備考欄は前年度対比の主な理由説明

IV 雇用、就労に係る情報の収集、提供及び普及並びに各種相談等の支援並びに職業紹介に関する事業
(定款第4条第4号関連)

事業名・事業内容	【令和7年度】実績	前年度対比	備考(※)	令和7年度事業計画
1 雇用・就労に関する事業				
(1) 世田谷区三軒茶屋就労支援センター(三茶おしごとカフェ)の運営 若年者や女性、シニアの就職支援強化及び区内事業所の雇用を支援するため、就労相談窓口や情報コーナー、ハローワークの職業紹介窓口「ワークサポートセタがや」を併設するなど、区内就労支援サービスの拠点施設として運営する。	求職登録者数 752人 求人登録件数 4,171件 職業紹介件数 425件 就職件数 308件 内職あっせん数 44件 来館者数 (延べ) 22,790人 おしごと相談数 2,544件 実施回数 12回 参加者 44人 実施回数 15回 参加者数 60人 新規登録者数 (延べ) 73件 新規登録事業者件数 11件 求人登録件数 176件 就職件数 25件	7減 149増 19増 2増 12増 505増 192増 ±0 3減 1増 12減 2増 1減 1増 15増	同水準 同水準 同水準 同水準 前年と比べ、軽作業案件が増加したため 当センター利用者の再来件数が増加したため 上記来館者数の増加に伴い相談件数も増加したため 同水準 同水準 同水準 区内施設にて行っている出張相談の参加者数が減少したため 同水準 同水準 清掃関係業務において、前年度より就職件数が増加したため	800人 4,200件 450件 320件 25件 20,000人 2,400件 12回 50人 13回 70人 80件 12件 200件 20件

(※) 備考欄は前年度対比の主な理由説明

事業名・事業内容	【令和7年度】実績	前年度対比	備考(※)	令和7年度事業計画
2 セミナーや相談会に関する事業 (1) 就職面接会、セミナー等の実施 ハローワーク渋谷等との共催により、区内を中心とした採用に積極的な優良中小企業とのマッチングの場を提供した。 また、就労者向けセミナーのほか経営者向けセミナーも開催し、就労・雇用の両側面から支援を行う。 ①就職面接会の開催 ②就職支援セミナー等の開催 ・就職支援セミナー ・企業経営者向けセミナー	参加者 (延べ) 662人 事業者 70社 参加者 (延べ) 7,220人 7,191回 参加者 (延べ) 573人 22回	52増 17減 1,179増 9増 403増 土0	同水準 同水準 オンライン及びオンデマンド配信により、定員枠を拡大することにより、参加者が増加したため 企業経営者向けセミナーと就職支援セミナーの実施方法を一部合同で行った結果、全体の参加者が増加したため	600人 80社 5,900人 170回 80人 8回
(2) 社会保険・労働相談、メンタルケア相談の実施 ①社会保険・労働相談 社会保険労務士による、労務管理や社会保険に関する相談・指導サービスとして、予約不要の個別相談と事前予約制の夜間相談や事業所訪問型相談を実施する。 ・個別相談 世田谷産業プラザ・烏山区民センターほか ・訪問相談等 1事業者年度内3回まで ②メンタルケア相談 現在就職中、または就職活動中の方に対し、臨床心理士によるメンタル面でのカウンセリングを行う。 ・個別相談 週2回(世田谷産業プラザ) ③ハラスメント相談外部委託サービス 令和4年4月から中小事業者にもハラスメントへの措置が義務付けられたことを受け、公社が従業員の社外相談窓口を受託する。	相談件数 413件 相談件数 195件 利用事業者数 9社 対象従業員数 443人	10減 6増 2増 46増	同水準 同水準 ハラスメント相談窓口の制度周知が進んだことにより利用件数が増加したため	440件 220件 7社 370人

(※) 備考欄は前年度対比の主な理由説明

V 中小企業勤労者福祉の充実及び推進に関する事業

(定款第4条第5号関連) <セラ・サービス事業>

事業名・事業内容	【令和7年度】実績	前年度対比	備考(※)	令和7年度事業計画
ベネフィット・ワンへの委託事業の効果的な活用 ・事業所アンケート調査の実施	361件	274増	前年と比べ、ダイレクトメール実施により回答数が増加したため	50件
1 余暇活動助成に関する事業 (1) ベネフィット・ワンへの委託事業 ①レジャー施設等利用割引 東京デイスニーリゾート1デーパスの購入に対して補助を行った。	2,362枚	38減	同水準	2,500枚
②宿泊補助 ベネフィット・ワンが契約する、全国の宿泊施設の利用に対して補助を行った。	1,755人	640増	利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため	1,300人
③グルメ等利用割引 ベネフィット・ワンが契約する店舗へ、会員証やデジタルクーポン等の提示による割引を行った。 ・グルメ(松屋、しゃぶ葉、ステーキハウス等)	4,108人	1,507増	利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため	2,800人
・育児(一時保育補助、育児用品レンタル補助等)	85人	68減	利用者のニーズの変化に伴い減少したため	170人
・リラク・ビューティー(日帰り温泉・スパ等)	829人	159増	利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため	700人
・シヨッピング(ネット通販等)	1,922人	354増	利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため	1,700人
(2) セラ・サービス独自事業 ①レジャー施設等利用割引 関東近郊の遊園地等のチケットの割引販売を行った。 (西武園ゆうえんち等)	953枚	324増	利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため	800枚
②飲食店等利用割引 特産品のあっせんやグルメチケット、プリペイドカードの割引販売を行った。	2,960件	981減	年度ごとに幹旋商品が異なり、商品によって申し込みに増減があるため	4,100件
・特産品の販売(飲むヨーグルト、マスキメロン、世田谷みやげ等)	2,204枚	1,135増	利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため	1,300枚
・プリペイドカード等の販売(サーターワンワフット券等)	2,870枚	1,964減	年度ごとに幹旋商品や販売枠が異なり、取扱商品の内容によって申込件数が減少したため	5,000枚
③チケット購入補助・割引 野球・観劇・コンサート・展覧会のチケットの割引販売を行った。	2,177枚	106減	同水準	2,000枚
④宿泊補助 世田谷区民健康村の宿泊利用補助を行った。	520人	146増	補助額を見直したため (一人1泊、千円→2千円)	750人

(※) 備考欄は前年度対比の主な理由説明

事業名・事業内容	【令和7年度】実績	前年度対比	備考(※)	令和7年度事業計画
2 健康維持増進に関する事業 (1) ベネフィット・ワンの委託事業 ベネフィット・ワンが契約するフィットネスクラブ等の割引を行った。 (2) セラ・サービス独自事業 ①健康診断等補助 人間ドック・定期健康診断やストレスチェック診断等の補助を行った。 ・人間ドック ・定期健康診断 ・ストレスチェック ②健康増進施設等利用補助 日帰り温浴施設等の割引販売やゴルフ場の利用に対して補助を行った。 ・温浴施設等(宮前平湯けむりの庄等) ・ゴルフ場補助	1, 9 6 5 人 1 4 6 人 3, 4 1 8 人 6 社 4, 8 9 5 枚 3 4 9 人	8 5 6 増 1 1 増 1 5 8 増 2 増 2 7 0 減 1 0 6 増	利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため 利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため 利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため 同水準 利用者のニーズの変化に伴い減少したため 利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため	1, 2 0 0 人 1 5 0 人 3, 4 0 0 人 5 社 5, 5 0 0 枚 6 0 0 人
3 自己啓発促進に関する事業 (1) ベネフィット・ワンへの委託事業 インターネットを通じて無料利用できる、語学や資格、趣味や習い事等のeラーニングの提供を行った。 (2) セラ・サービス独自事業 ①資格・検定試験受験料補助(宅地建物取引主任者等) ②自己啓発セミナー(簿記3級、ITパスポート、FP3級)	3 4 0 件 1 9 4 件 1 4 人	1 0 6 増 4 増 1 増	利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため 同水準 同水準	2 5 0 件 2 9 0 件 2 0 人
4 給付に関する事業 (1) セラ・サービス独自事業 会員の結婚等の慶弔事由に対して給付金を支給した。 ・祝金 ・見舞金 ・弔慰金	2 2 2 件 3 5 件 5 1 件	3 4 増 ± 0 7 増	同水準 同水準 同水準	2 8 7 件 6 3 件 7 0 件
5 ベネアガワント登録キャンペーン (1) ベネフィット・ワンへの委託事業 ベネアガワントの登録促進キャンペーンとして、特別補助を付加して販売を行った。 ・シネマチケット補助(TOHシネマズ、109シネマズ等) ・温浴チケット補助(横浜みなとみらい万葉倶楽部等)	2, 3 1 3 枚 2 3 枚	8 5 4 増 7 減	利用促進策(HP、パンフレット)の効果により増加したため 年度ごとに韓国商品が異なり、商品によって申し込みに増減があるため	2, 0 0 0 枚 5 0 枚
セラ・サービス会員数(令和8年3月31日現在)	7, 8 6 9 人(事業所数 9 2 4)	8, 0 0 0 人		

(※) 備考欄は前年度対比の主な理由説明

VI 区内観光に係る情報の収集、提供及び交流に関する事業
(定款第4条第6号関連)

事業名・事業内容	【令和7年度】実績	前年度対比	備考(※)	令和7年度事業計画
1 世田谷の魅力再発見に関する事業 (1) 世田谷まちなか観光の推進 ①観光資源管理 世田谷まちなか観光交流協会の参加団体との連携促進 ②情報発信 観光ホームページの運用 観光情報冊子発行(せたがやガイドブック) 観光案内所やイベント等で配布 観光情報コーナーの設置 観光に関するパンフレットやチラシ等を配布 ③受入環境整備 観光案内所運営 年中無休(年末年始を除く) 10～18時で運営 観光ボランティアガイド運用 ④地域活性化 イベント出店 (2) 世田谷ブランドの育成 「世田谷みやげ」の指定 「世田谷みやげ」冊子発行	総会 2回 交流会 1回 部会 4回 会員数 113団体 アクセス数 569,993件 日本語 20,946部 英語 8,086部 設置箇所 14箇所 利用者数 57,944人 (日本人) 42,829人 (外国人) 15,115人 利用者数 266人 登録人数 25人 出店回数 36回 審査会 令和7年7月 指定商品 114商品 発行 令和7年12月 配布数(世田谷みやげ2026) 25,000部	1増 ±0 ±0 5増 183,675増 2,936減 2,361増 2減 4,835増 1,777増 3,058増 105増 2減 3増 4減 ±0	総会を臨時に開催する必要が生じたため 同水準 同水準 会員による紹介があったため 前年と比べ、観光需要の回復によりアクセス数が増加したため 猛暑による外出控え等による案内所での配布数の減少 前年と比べ、インバウンド増加により配布数が増加したため 前年と比べ、設置場所閉鎖の影響により設置箇所数が減少したため 前年と比べ、観光需要の回復およびインバウンド増加により利用者数が増加したため 前年と比べ、観光需要回復の影響により利用者数が増加したため 同水準 同水準 新規商品指定数の減少 同水準	1回 1回 4回 111団体 400,000件 20,000部 5,000部 16箇所 54,000人 42,000人 12,000人 160人 25人 35回 令和7年7月 114商品 令和7年12月 25,000部

(※) 備考欄は前年度対比の主な理由説明

Ⅶ 総務

事業名・事業内容		【令和7年度】実績		前年度対比	備考(※)	令和7年度事業計画
1	D X推進 ・メール送信前のセルフチェック機能導入 ・Automemo（音声認識技術を活用した議事録等作成のAIサービス）導入 ・産業プラザ会議室の利用拡大のため会議室検索サイトの運用開始		実施 実施 実施	— — —		— — —
2	組織運営 会社の安定した事業運営とノウハウ継承のため、職員採用を行う。 併せて、区の研修等を通じて人材育成に努めるとともに、令和5年度より人事考課制度を導入し、職員のモチベーション向上を継続的に図っていく。	職員採用 区研修	3名 10回	—		区研修計画に基づく

(※) 備考欄は前年度対比の主な理由説明

3. 登記事項

①令和7年4月30日 登記

理事1名の辞任

②令和7年8月29日 登記

評議員1名の辞任、評議員1名の就任

4. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

回数	開催年月日	番 号	件 名
第1回	令和7年5月26日	議案第1号	令和6年度公益財団法人世田谷区産業振興公社事業報告の承認について
		議案第2号	令和6年度公益財団法人世田谷区産業振興公社財務諸表の承認について
		議案第3号	令和7年度第1回公益財団法人世田谷区産業振興公社評議員会の招集について
		報告第1号	業務執行理事の職務執行状況報告について
		報告第2号	令和7年度公益財団法人世田谷区産業振興公社資産運用計画について
		報告第3号	公益財団法人世田谷区産業振興公社セラ・サービス会費残額の取り扱いについて
		報告第4号	公益財団法人世田谷区産業振興公社公益充実資金の設置及び積み立てについて
		報告第5号	公益財団法人世田谷区産業振興公社職員就業規程の一部改正について
第2回	令和7年11月13日	報告第6号	公益財団法人世田谷区産業振興公社職員給与規程の一部改正について
		議案第4号	令和7年度第2回公益財団法人世田谷区産業振興公社評議員会の招集について
		議案第5号	公益財団法人世田谷区産業振興公社公益充実資金の設置について
		報告第1号	業務執行理事の職務執行状況報告について
		報告第2号	令和7年度公益財団法人世田谷区産業振興公社事業の執行状況について
		報告第3号	専決処分の報告について(公益財団法人世田谷区産業振興公社職員就業規程の一部改正)
第3回	令和7年12月2日 (書面表決)	報告第4号	専決処分の報告について(公益財団法人世田谷区産業振興公社職員給与規程の一部改正)
		報告第5号	専決処分の報告について(公益財団法人世田谷区産業振興公社職員退職手当支給規程の一部改正)
		議案第6号	令和7年度第2回公益財団法人世田谷区産業振興公社評議員会の招集について
第4回	令和8年2月18日	報告第1号	専決処分の報告について(公益財団法人世田谷区産業振興公社職員給与規程の一部改正)
		議案第7号	令和8年度公益財団法人世田谷区産業振興公社事業計画について
		議案第8号	令和8年度公益財団法人世田谷区産業振興公社収支予算について
		議案第9号	令和8年度公益財団法人世田谷区産業振興公社資金調達及び設備投資の見込について
		議案第10号	公益財団法人世田谷区産業振興公社公益充実資金の保有について
		議案第11号	令和7年度第4回公益財団法人世田谷区産業振興公社評議員会の招集について
		報告第1号	令和8年度予算概要図について
第5回	令和8年3月25日 (書面表決)	報告第2号	令和8年度公益財団法人世田谷区産業振興公社組織体制について
		議案第12号	公益財団法人世田谷区産業振興公社監事候補者の推薦について
		議案第13号	令和7年度第5回公益財団法人世田谷区産業振興公社評議員会の招集について

(2)評議員会

回数	開催年月日	番 号	件 名
第1回	令和7年6月16日	議案第1号	令和6年度公益財団法人世田谷区産業振興公社財務諸表の承認について
		議案第2号	公益財団法人世田谷区産業振興公社評議員の選任について
		報告第1号	令和6年度公益財団法人世田谷区産業振興公社事業報告について
		報告第2号	令和7年度公益財団法人世田谷区産業振興公社資産運用計画について
		報告第3号	公益財団法人世田谷区産業振興公社セラ・サービス会費残額の取り扱いについて
		報告第4号	公益財団法人世田谷区産業振興公社公益充実資金の設置及び積み立てについて
		報告第5号	公益財団法人世田谷区産業振興公社職員就業規程の一部改正について
		報告第6号	公益財団法人世田谷区産業振興公社職員給与規程の一部改正について
第2回	令和7年12月5日 (書面表決)	議案第3号	公益財団法人世田谷区産業振興公社常勤役員の報酬額等について
		報告第1号	専決処分の報告について(公益財団法人世田谷区産業振興公社職員給与規程の一部改正)
第3回	令和7年12月16日	議案第4号	公益財団法人世田谷区産業振興公社公益充実資金の設置について
		報告第1号	令和7年度公益財団法人世田谷区産業振興公社事業の執行状況について
		報告第2号	専決処分の報告について(公益財団法人世田谷区産業振興公社職員就業規程の一部改正)
		報告第3号	専決処分の報告について(公益財団法人世田谷区産業振興公社職員給与規程の一部改正)
		報告第4号	専決処分の報告について(公益財団法人世田谷区産業振興公社職員退職手当支給規程の一部改正)
第4回	令和8年3月16日	議案第5号	令和8年度公益財団法人世田谷区産業振興公社事業計画について
		議案第6号	令和8年度公益財団法人世田谷区産業振興公社収支予算について
		議案第7号	令和8年度公益財団法人世田谷区産業振興公社資金調達及び設備投資の見込みについて
		議案第8号	公益財団法人世田谷区産業振興公社公益充実資金の保有について
		報告第1号	令和8年度予算概要図について
		報告第2号	令和8年度公益財団法人世田谷区産業振興公社組織体制について
第5回	令和8年3月27日 (書面表決)	議案第9号	公益財団法人世田谷区産業振興公社監事の選任について

5. 役員名簿

(令和8年3月31日現在) (敬称略)

	氏 名	備 考
理事長	近藤 賢二	一般財団法人日本特許情報機構理事長
副理事長	宮崎 健二	
理事	飯野 光彦	東京商工会議所世田谷支部会長
理事	五十嵐 哲男	世田谷区経済産業部長
理事	板野 裕爾	NHK前専務理事
理事	片平 三郎	公益社団法人世田谷工業振興協会会長
理事	桑島 俊彦	世田谷区商店街振興組合連合会最高顧問 世田谷区商店街連合会名誉会長 世田谷まちなか観光交流協会会長
理事	小島 和子	人権擁護委員、行政相談委員、保護司
理事	神保 和彦	東京都信用金庫協会顧問
理事	鶴田 佳子	学校法人昭和女子大学人間社会学部教授
理事	中村 大路	世田谷区建設団体防災協議会副会長
監事	梅津 知充	公認会計士
監事	大澤 正文	世田谷区会計管理者

6. 評議員名簿

(令和8年3月31日現在) (敬称略)

氏 名	備 考
木下 幸男	渋谷公共職業安定所所長
川島 至道	東京信用保証協会渋谷支店長
境 新一	成城大学経済学部／大学院教授
佐藤 雅彦	弁護士
根本 善之	世田谷地区労働組合協議会事務局長
福田 武雄	東京中央農業協同組合理事
三尾 豊	世田谷信用金庫常務理事
本杉 香	世田谷区商店街振興組合連合会相談役 世田谷区商店街連合会相談役
森 忠保	公益社団法人世田谷工業振興協会副会長
山中 令士	一般社団法人せたがや中小企業経営支援センター会員
渡瀬 丈史	東京商工会議所世田谷支部副会長

7. 附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当の事項はありません。

公益財団法人世田谷区産業振興公社